

令和4年度行政事業レビューシート (法務省)

事業名	PFI刑務所の運営			担当部局庁	矯正局		作成責任者		
事業開始年度	平成17年度	事業終了 (予定) 年度	令和8年度	担当課室	総務課		総務課長 細川 隆夫		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律 簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律第48条第1項			関係する 計画、通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	PFI手法を活用した官民協働による刑事施設の運営を行うことにより、行政コスト削減や国民に開かれた刑事施設運営を行いつつ、適切な刑事施設の運営を実現する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	施設の設計・建設・維持管理及び被収容者の処遇に係る事業について、PFI手法を活用し、美祢社会復帰促進センター(平成19年4月運営開始、事業期間20年)、島根あさひ社会復帰促進センター(平成20年10月運営開始、事業期間20年)を整備した。また、国費をもって刑事施設の設計・建設を行った上、建設後の施設の維持管理及び被収容者の処遇に係る事業について、PFI手法を活用し、喜連川社会復帰促進センター、播磨社会復帰促進センター(いずれも平成19年10月運営開始、事業期間15年)の運営が開始され、平成29年9月から国際法務総合センター(事業期間11年)の運営を開始した。 なお、これらの契約は国庫債務負担行為で長期契約を実施している。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	14,699	15,240	15,219	11,671	11,688		
		補正予算	▲ 155	▲ 200	▲ 202	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計		14,544	15,040	15,017	11,671	11,688		
	執行額		14,360	14,842	14,815				
	執行率 (%)		99%	99%	99%				
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		99%	99%	99%				
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
	公共施設等維持管理運営費	11,670	11,687	・物価変動に伴う事業費改定による(目)公共施設等維持管理運営費の増					
	職員旅費	1	1						
	計	11,671	11,688						
活動内容 (アクティビティ)	行政コストを削減し、国民に開かれた刑事施設運営を行いつつ、適切な刑事施設の運営を実現するべく、PFI手法を活用した官民協働による刑事施設の運営を行う。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	PFI手法を活用した官民協働による刑事施設運営を行う。	PFI手法を活用した官民協働による刑事施設の数	活動実績	施設	5	5	5	-	-
			当初見込み	施設	5	5	5	3	-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	実績額/施設数 (百万円/施設数)		単位当たりコスト	百万円	2,872	2,968	2,963	-	
			計算式	百万円/施設数	14,360/5	14,842/5	14,815/5	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	-	-	成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	-								

定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由及び定量的な成果目標		定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と令和元年～令和3年度の達成状況・実績					
			本事業は、PFI手法を活用した官民協働による適切な刑事施設の運営を実現することが目的であるところ、これらの実現には、被収容者の収容動向や処遇困難者の増加等の他動的要因が関係していることから、定量的な目標(いつまでにどの程度といった目標)設定は困難である。			PFI手法を活用した官民協働による適切な刑事施設の運営を実現する。 令和元～令和3年度の達成状況・実績:各年度において、適切な刑事施設の運営が実現されている。					
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績		代替目標	代替指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 -年度
			適切な刑事施設の運営	国が実施するモニタリングによる違約金及び事業費の減額の発生件数	実績	件	0	0	0	-	-
目標値						件	0	0	0	0	-
			達成度	%	100	100	100	-	-		
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	矯正処遇の適正な実施(Ⅱ-6)								
		施策	矯正施設の適正な運営に必要な民間委託等の実施(Ⅱ-6-(3))			政策評価書URL	https://www.moj.go.jp/content/001354678.pdf				
	政策評価	新経済・財政再生計画改革工程表	取組事項	分野:	-	-					
				(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:		-					
				該当箇所		-					
事業所管部局による点検・改善											
国費投入の必要性	項 目					評 価	評価に関する説明				
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。					○	構造改革特別区域制度を活用して官民協働による刑務所運営を実施しており、国民や社会のニーズを的確に反映している。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					○	刑事施設の運営は治安の維持に係る事業であり、その実施主体は国にある。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。					○	行政コスト削減や国民に開かれた刑事施設運営を行いつつ、適切な刑事施設の運営を実現するために必要かつ適切な事業である。				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					○	事業開始時に競争性を確保した上で、国庫債務負担行為を活用している。				
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。					無					
	競争性のない随意契約となったものはないか。					無					
	受益者との負担関係は妥当であるか。					-	-				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。					○	国庫債務負担行為による契約を締結しており、使途は事業目的の達成のために必要なものに限定されている上、民間のノウハウを活用しコスト削減に努めており、単位当たりコスト等の水準は妥当である。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					-	-				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					○	国庫債務負担行為による契約を締結しており、事業目的に即し真に必要なものに限定されている。				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)					-	-				
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)					-	-				
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。					○	民間のノウハウを活用し、コスト削減や効率化に努めている。				
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。					-	-				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					○	他に例のない事業であり、民間による刑務所運営は、要求水準を満たすことで適正に行われている。				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					○	対象施設において実績があり、見込みに見合ったものである。				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					-	-				
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					-	-				
	事業番号			事業名							
				-							

点検・改善結果	点検結果	民間の資金・ノウハウ等を活用した、いわゆるPFI手法により矯正施設及び研修施設の維持管理・運営事業を実施している国際法務総合センターについては、平成29年9月から運営を開始し、その他のPFI施設については、運営開始から9年ないしは11年経過したところであるが、おおむね円滑に運営されている。 これらのPFI手法を活用した刑事施設においては、教育プログラムでは、反犯罪性思考プログラムなどの心理療法を採り入れた教育を実施しているほか、職業訓練においては、各種技術・資格の取得等を実施しているなど、民間のノウハウを活用することによって国費の節減だけでなく多様な矯正処遇を実施することが可能となっている。 なお、平成24年度から、事業費の一部となる食糧費について、収容人員が定員の8割を下回った場合、その下回った分の食糧費を事業費から減額することとし、収容人員に応じた経費支払いの節減に努めている。			
	改善の方向性	引き続き民間の資金・ノウハウ等を活用した刑事施設の維持管理・運営事業を円滑に運営する。			
外部有識者の所見					
外部有識者による点検対象外である。					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	引き続き効率的な予算の執行に努められたい。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	本事業の有効性を検証するためのよりきめ細やかな指標設定について、引き続き検討				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成23年度	0042				
平成24年度	0045				
平成25年度	0033				
平成26年度	0026				
平成27年度	0025				
平成28年度	0024				
平成29年度	0024				
平成30年度	0024				
令和元年度	法務省 - 0025				
令和2年度	法務省 0027				
令和3年度	2021 法務 20 0026				
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：百万円)	※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。				
	法務省 14,815百万円 〔 P F I 手法、公共サービス改革法による 官民連携手法を用いた民間業務委託等 〕 ↓ 旅費の支給 A. 職員 ほか 0百万円 〔 P F I 手法、公共サービス改革法を用いた事業継続に係る運営協議等 〕 維持管理運営費【国庫債務負担行為等】 B. 島根あさひソーシャルサポート株式会社 ほか 14,815百万円 〔 「構造改革特別区域法」を活用した P F I 手法に基づく刑務所の運営等 〕				

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.職員A			B.島根あさひソーシャルサポート株式会社		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	旅費	大規模修繕に係る打合せ旅費	0.1	公共施設等維持管理運営費	PFI刑務所運営事業	4,120
	計		0.1	計		4,120

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	職員A	-	大規模修繕に係る打合せ旅費	0.1	その他	-	-	-
2	職員B	-	大規模修繕に係る打合せ旅費	0.1	その他	-	-	-
3	職員C	-	大規模修繕に係る打合せ旅費	0.1	その他	-	-	-
4	職員D	-	大規模修繕に係る打合せ旅費	0.1	その他	-	-	-

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	島根あさひソーシャルサポート株式会社	6280001004702	PFI刑務所運営事業	4,120	国庫債務負担行為等	-	-	-
2	社会復帰サポート美祢株式会社	1011001044785	PFI刑務所運営事業	3,050	国庫債務負担行為等	-	-	-
3	昭島国際法務PFI株式会社	7010001180461	PFI刑務所運営事業	2,868	国庫債務負担行為等	-	-	-
4	社会復帰サポート喜連川株式会社	5011001052594	PFI刑務所運営事業	2,753	国庫債務負担行為等	-	-	-
5	播磨ソーシャルサポート株式会社	5140001045612	PFI刑務所運営事業	2,024	国庫債務負担行為等	-	-	-